

これまでの「生命保険に関する研究助成」の助成テーマ一覧

※テーマは申請時のタイトル

2022年度

【若手研究者】
多様化する生命保険加入チャネルと加入行動—保険リテラシーと情報入手の違いによる影響—
生命保険契約の締結過程における高齢者の法的保護 —フランス法における脆弱性(Vulnérabilité)概念を中心として—
生命保険会社の価値を最大化するコーポレートガバナンスについての一考察: 株主第一主義、ステークホルダー理論、エージェンシー理論、スチュワードシップ理論による検証
生命保険契約における死後事務委任費用および成年後見事務費用の法的課題に関する研究
中小企業の福利厚生(年金・退職金)に関する制度・実証分析—中退共(中小企業退職金共済)を中心として
金融リテラシー教育における「保険」を用いたパフォーマンス評価の開発
保険契約におけるリスク防衛手段規制の再検討:モンゴル法との比較
消費者のリスク認知バイアスとマーケティング・バイアスに対する生命保険広告のリスク・コミュニケーション
生体臓器提供をめぐる保険法上の問題
通達と公正処理基準との関係についての一考察(仮)—支払保険料における逆基準性を中心として—
眼球運動測定装置を用いた保険の加入意思決定に関する研究
【一般研究者】
生命保険会社のコーポレートガバナンス—健全性規制との関係を探る—
保険契約における契約者の属性に関する民事法・消費者法的観点からの研究

2021年度

【若手研究者】
約款の内容規制における考慮事由としての抽象的利益—ドイツにおける Allgemeininteressen をめぐる議論を サステナブルインシュランスの実現可能性に関する研究
重大事由解除における「詐欺」の意義:公法と私法の交錯の視点
企業年金システムと経営者の裁量的行動に関する研究—会計基準変更前後の確定拠出年金の国際比較を コロナ禍における乳癌術後放射線治療を受ける患者の生命保険加入状況と短期的放射線治療による生命保 険金給付の調査
「生命保険を題材とした授業」を考えさせる大学生向け教育プログラムの開発 —「総合的な学習の時間」における現代的な課題を指導できる教員養成を目指して—
近代ドイツポリツァイ学における保険論—私的保険企業への国家介入をめぐる
保険約款と消費者保護の関係～日本とモンゴルの比較研究
生命保険会社におけるリスクと法の起源—支払準備金、運用資産、保険料収入に関する国際比較—
不妊治療における治療費負担の実情と公私保険の役割について
生命保険訴訟における医療診断とその評価についての研究——保険法と医事法の交錯としての医療をめぐ る
家計内でのリスク分散と保険需要—介護保険パズルの解消に向けた一考察—
生命保険料控除制度改正にかかる試論—退職所得控除の今日的意義を交えて—
危険増加法理と重大事由解除における免責の関係
P2P型生命保険とタカフル(イスラム保険)の類似性検証を踏まえたインシュアテックの社会価値創出機能の 探求:生命保険のユニバーサル(=宗教を超越した)デザインを求めて
【一般研究者】
生命保険契約を用いた租税回避行為に関する研究:裁判例・裁決事例の検討を中心にして
健康増進型医療保険が生命保険会社の財務状況に与える影響—国際保険資本基準と健康保険組合データ 任意加入型団体保険契約における二重構造問題に対する法的解決策の再検討
少子化の一因である未婚化の進展と就業環境との関係についての実証研究による検証
上記研究を基に、人生設計の変化が保険加入行動に与えた影響の考察

2020年度

パンデミックリスクマネジメントに関する研究
約款に関する保険契約者のduty to readルール考察 -アメリカ法と中国法の視点から-
集団的な契約条件の変更に係る法制度の現状とそのあり方
「生命保険のデザイン」を通じたキャリア教育プログラムの開発と評価 —学習者の将来的なリスクを想定したキャリア設計を目指して—
生命保険会社が社会保障制度に与えた影響に関する歴史社会学的研究 —19世紀英独の比較分析を通じて—
団体信用生命保険契約における告知義務
年齢および所得水準が生命保険需要に与える影響
保険金受取人変更の意思表示の解釈とその規律
生命保険におけるアセットアロケーションと法の起源 —運用パフォーマンスと制度的補完性の関連性について—
生命保険会社における内部通報制度に関する実証的研究 —消費者庁「内部通報制度認証(自己適合宣言登録制度)」登録会社を中心に—
リスクへの想像が生命保険の需要に与える影響の理論的考察 -保険需要のパズルの解明-
いわゆる事業保険の支払保険料における損金該当性要件の研究 —個人事業主と法人における異同を中心として—
生保型傷害保険(災害関係特約)の約款規定の再検討
生命保険におけるゲノム情報の取扱いのあり方についての研究

2019年度

インシュアテックを活用した保険需要者の効用を最大化する保険商品に関する研究
保険金請求過程における保険者の調査義務の法的性質
インデックスの導入が保険市場に与える影響の理論的考察
保険会社によるScheme of Arrangementの利用
私的保険制度需要と世代間相互扶助行動の関係に関する経済分析
保険者の意向把握義務に関する規律の検討
統計的プロセス管理の生命保険事業への応用
公的医療保険の患者負担の変化が民間医療保険の需要に与える影響
労災認定された精神障害による自殺と生命保険契約における自殺免責規定適用の関係
保険販売規制への行動経済学の取り込み: 欧州の経験から
企業保障をベースとした民間医療保障と公的医療保障との連関についての研究 : 医療保険取引所(Marketplace or Exchange)に着目して
死亡保険金の受取人である相続人の保険金請求権放棄 : 生命保険・傷害疾病定額保険の比較をまじえた再検討
重大事由解除における信頼関係破壊という要件
我が国個人所得税における生命保険料控除の望ましい在り方 —特に生命保険信託における契約者の人格による差異を中心として—
教育による人的資本蓄積が経済成長の源泉である下での最適生命保険支出のありかたに関する理論分析

2018年度

保険募集人の特性に応じた募集規制についての研究
米生命保険ビジネスにおけるリスク選択と企業形態の関係性考察～20世紀アメリカの黒人生命保険会社の事例より
法の起源と生命保険の進展に関する国際比較
倒産時の生命保険の法的対応
ゼロエミッション社会における生命保険と持続的経済成長のマクロ動学研究
保険法の立法過程の研究～生命保険法を中心に～
生命保険契約における遺伝情報の利用をめぐる法的問題
保険募集における情報提供に係る規律の検討
生命保険における遺伝情報の取扱いに関する法的・倫理的課題の検討

2017年度

生命保険を題材とした「情報を読み解く」メディア・リテラシー教育に関する実践的研究
中国の介護保険制度における公私ミックスに関する研究
社会人の生命保険リテラシーと今後の生命保険教育
オーストラリア保険契約法における詐欺的請求に対する規律の生成と展開
保険契約の契約内容の変更に関する法的規律
生命保険契約の重大事由解除における保険者の「信頼」の理論的意義
生命保険契約とこれに関連した契約の相互依存関係-フランス法からの示唆
事故の偶発性を中心とした保険事故における立証軽減法理の必要性とその適正な運用について
「おひとりさま」社会における生命保険の可能性
保険訴訟における被保険者情報の取扱い
-保険訴訟の特殊性とその審理構造の視点から-
因果関係不存在則の在り方について: 生命保険の告知義務における疾病相互の関係を中心に

2016年度

19世紀ドイツにおける民間保険制度に関する歴史社会学的研究
生命保険の販売実績および解約実績が生命保険会社の資産運用ポートフォリオに与える影響
生命保険会社の販売促進活動に関する研究: 戦前新聞広告分析を中心にして
女性向け保険商品開発におけるライフコース戦略
近年のPPI(Payment Protection Insurance)をめぐる適合性原則及び不招請勧誘の問題
告知義務と契約前発病不担保条項
年金資本主義と会社法改革—2006年英国の会社法改正を事例に
保険販売における2つのコンバージェンス: IDDと保険業法改正
犯罪免責条項の存在意義と保険法における展望

2015年度

日本の小地域レベルにおける死亡率の傾向の解明と生命保険への影響及び示唆
保険金詐欺的請求の規律に関する一考察
ドイツにおける「保険競争法」に関する研究について
保険契約における「重過失」の意義
生命保険会社に代表される危険回避型機関投資家の最適資産運用法の確立と理論解析
年金資本主義: 「資本主義の多様性」と金融危機
生命保険会社の恒久的施設と所得の帰属-ドイツとの比較
家計の近視眼的思考と婚姻・出産の選択
生命保険契約における任意法規の意義: 消費者契約法10条と無催告失効条項・復活条項
生産年齢人口減少社会における家族と世帯の多様化と生命保険商品の販売戦略
-ライフコース・アプローチによるライフイベント診断-
保険会社のグループ経営における会社法と金融監督法の交錯
医療イノベーションの推進と医療財政の健全化に向けた民間医療保険の役割に関する経済分析

2014年度

長寿リスクの計測・管理及び長寿リスクを伴う金融商品の価値評価のための数理的手法の開発
家族の介護参画を考慮に入れた新しい生命保険モデルの創出—阪大アンケートを使ったマイクロ実証分析—
少子高齢化社会における生命保険制度と家族の行動に関する経済理論研究
生命保険の支払請求において成年後見制度の利用が果たす機能
—生命保険と成年後見制度に対する意識を規定する要因と地域差に着目して—
日英告知義務制度の比較法的検討
民間医療保険加入が幸福度に及ぼす影響に関する研究: 日米比較
生命保険会社のグローバル市場参入戦略分析
生命保険契約の買取をめぐる課税問題の比較法分析—所得課税を中心に—
生命保険契約をめぐる消費者紛争事案に係る裁判外紛争解決手続(ADR)の判断枠組み及び
解決技法に関する総合的研究
保険制度の活用による不法行為法制の変容可能性
保険金詐欺請求への対応に関する研究
保険募集に係る業法規整のあり方に関する研究

2013年度

家計・生命保険会社とインターネットチャネルに関する定量的研究
第三者による保険事故招致と保険者免責
一時払い終身保険の商品性と受容性に関する考察—日中比較を交えて—
先進グローバル生命保険会社の海外進出に関する決定要因分析
生命保険に係る個人所得課税上の諸課題—ドイツの税制改正を中心に—
生命保険法における精神疾患・精神障害に関するわが国裁判例の体系的分析
給付反対給付均等原則の法的再定位
法人契約における保険事故招致免責規定に関する研究—フランス法を参考に—

2012年度

生命保険会社の販売チャネル戦略に関する研究
規制の変化が生命保険市場および生命保険会社に与える影響に関する研究
企業年金規制システムの社会学的考察～規制行政のエンフォースメントにおける効率的運用への序論的考
生命保険産業の成熟による生命保険会社の経営戦略と課題
—生命保険会社の海外進出に関する日・韓比較を中心に—
中国における商業医療保険の特徴と戦略的課題
保険金受取人の保険金請求権取得の固有権性理論の再検討—比較法的見地から—
欧州における生命保険分野に関する競争法の適用について
フランス保険法における保険事故招致免責規定に関する基礎的研究
相互会社における定款自治・当事者自治の可能性とその限界

2011年度

ソルベンシー規制と会計規制の連動性と非連動性—包括的な規制の在り方を探る—
近代日本におけるアソシエーションと生命保険ビジネス
—交詢社と明治生命の活動の検討を軸に(1880-1920)
保険リテラシーと民間生命保険市場に関する研究
中国医療保障制度をめぐる官民役割分担に関する考察
保険監督者国際機構(IAIS)の役割と今後の課題—国際保険会社(International Insurers)に対する
IAISの国際基準(原則No.2)を中心に—
組織の経済学から見た保険取引と保険会社の役割に関する研究
地域金融市場における銀行の保険窓販解禁の影響に関する検証
保険金受取人の地位と相続法理との関係にかかる総合的研究
米国エリサ法における受託者の義務と年金受給者保護

2010年度

生命保険業の効率性—規制緩和や技術革新は効率性を高めたのか?—
中国における経済発展と保険事業の将来展望
オバマ医療保険改革と民間医療保険への影響
格差社会と若者の生命保険加入行動に関する分析
保険業法の目的—「保険業の公共性」と「保険契約者等保護」の意義—
生命保険会社のコーポレート・ガバナンスと財務報告—株式会社化がもたらす影響を中心に—
いわゆる変額保険に関する説明義務違反に基づく損害賠償請求訴訟における
民事訴訟法248条の適用可能性とその適用の意義に関する研究

2009年度

少子・高齢化社会における民間医療保険のあり方に関する研究
生損保相互参入の効率性の観点からの検証
家計における民間個人年金の加入行動に関する研究
日系移民コミュニティのリスクマネジメントとコミュニティ福祉
バイオ・メディカルにおける保険制度活用に向けた基礎理論の提唱に関する研究
米国金融危機と生命保険会社規制—American International Groupのケースを参考に—
企業年金政策の国際比較～リスク行政に主眼を置いて～
他人のためにする生命保険契約の対第三者的効力
生命保険相互会社の研究開発行動が市場成果に及ぼす影響について
保険規制の基礎理論—生命保険をめぐる日中比較分析研究を中心に
生命保険契約における被保険者の同意の法的性質について
リスク・マネジメントの制度化・義務化の意義と限界—企業会計の事例を通じた検証—

2008年度

カリフォルニア州民事訴訟法における生命保険債権保護
生命保険会社のリスクテイキングー諸外国や他産業との比較ー
生命保険会社の企業統治メカニズムにおける社外取締役の役割
法人による生命保険契約の受取人変更に関する研究
生命保険契約と被保険者
州政府による医療給付「義務化」政策の意義と限界：雇用主の医療給付改革との関連で
保険金受取人の地位とその変動をめぐる法的検討
『第三者のためにする契約』における『第三者』概念の再検討
詐欺無効条項の適用に関する一考察ー米国の不可争条項に関する裁判例を参考に
保険会計と他の会計との関係性の研究
保険仲介者の助言・説明義務に関する比較法的考察
カナダ・オーストラリアの保険負債の公正価値評価への取組に関する調査研究ー日加豪の国際比較ー
日本統治時代の台湾における保険判例に関する一考察

2007年度

学校における生命保険教育の現状と課題について
ニューヨーク州保険法における生命保険債権保護
生命保険の銀行窓販解禁に対する実証的評価
生命保険契約における法人の機関による被保険者故殺免責に関する研究
アカウント型保険の構造と性質に関する研究
傷害保険における保険事故の概念にかかると一考察ー米国における判例試論及び”accidental”の概念をもと
外部専門家導入による確定給付企業年金基金のガバナンス向上に関する研究
ー特に外部専門家理事についてー
不可争条項における一考察ー米国法を参考にー
超過積立の企業年金資産は誰のものか？
-年金資産及び負債の本質をめぐって-
戦前台湾における日本の生命保険会社の営業活動ー台湾人の生保加入をめぐってー
わが国における機関投資家としての生命保険会社とコーポレートガバナンス
ー投資先企業の株主総会における議決権及び提案権行使の実状を踏まえてー
エンベディッド・バリュー(EV)開示の意義と証券化
保険契約の会計基準に関する経済的影響の予測ー日米欧の比較を通じてー
少子高齢化社会におけるパーソナル・リスクマネジメントー生命保険とリスクコミュニケーションー
オペレーショナル・リスクと生命保険会社の企業価値ー諸外国の事例に基づく考察ー

2006年度

2004年ドイツ保険契約法改正草案における剰余金配当に関する規定とその問題点
わが国の公・私的介護保険制度における保険契約関係と情報開示
社会における生命保険と互酬性に関する考察
保険契約に係る会計をめぐる公正価値の意義と機能の研究
生命保険募集人の不法行為に関する研究
疾病保険におけるいわゆる「契約前発病不担保条項」について
ドイツ法における「待機期間」(Wartezeit)をめぐる議論を参考に
生命保険会社におけるコーポレート・ガバナンスー社外取締役の役割を中心にー
アメリカにおけるマネジドケアの実態とその帰結ー雇用主提供医療保険を中心に
機関投資家としての生命保険会社とコーポレートガバナンス
機能的アプローチからみた生命保険業と銀行業の比較
米国における疑わしい保険金請求に対する保険者の対応
介護問題に対するリスク観の影響について
生保リスクの証券化

2005年度

(生命)保険契約の射倖契約性に関する基本的研究
自殺免責論
保険契約における告知義務違反の効果に関する研究
米国における生命保険の買い取りに関する法規制の概要ーニューヨーク州保険法を素材にしてー
保険事故のあり方についてー立証責任の分配を中心としてー
傷害保険金請求における偶発的な事故の証明
生命保険における社会的・文化的背景に関する考察
中国生命保険業の発展プロセスに関する研究
生命保険における被保険者の法的地位
モラル・リスク排除を目的とした規定の沿革についてー他人の生命の保険契約に関するわが国の法規制ー
台湾における生命保険の受容過程ー戦前の日本生保会社の台湾進出をめぐってー
保険仲介者の専門家責任ー英国の保険ブローカーを参考にー
わが国保険業における募集チャネルの多様化に関する計量的評価
ー保険業法改正後のパネルデータを用いた募集チャネル費用効率性の検証ー

2004年度

(生命)保険契約の射倖契約性に関する基本的研究
ドイツにおける生命保険契約と他の金融商品との関係ーその規制の内容とあり方
団体生命保険の比較法的研究
生命保険マーケティングの役割の変化に関する研究
生命保険会社の有価証券投資行動
社会・経済環境の変化と消費者の保険選択行動に関する考察
生命保険会社による銀行への出資
ー外部規律付け可能性と金融市場における機関投資家としての生保の役割ー
生命保険契約に基づく権利の価値の法的評価
生命保険販売における保険仲介者の行為規制
日本人のリスク観について
わが国の保険産業における企業形態と流通構造の選択に関する実証分析
これからの生命保険事業の組織と市場と規制のあり方の研究
傷害事故および不慮の事故における外来性の要件について

2003年度

わが国のコーポレートガバナンスにおける生命保険会社の役割-負債権者としての生命保険会社の役割-
保険事故発生後の通知義務に関する研究
ドイツ保険契約法における保険料調整条項による既存の保険契約の条件変更と保険会社の受託者性
21世紀における生命保険マーケティングの在り方に関する研究
生活保障システムの変化における消費者のリスク保障行動
保険業における募集制度の適正化 -説明義務を中心として-
日本の生命保険会社における倫理的価値理念の再構築 -価値共有型企業倫理の制度化へ向けて-
外資系生命保険会社の新規参入戦略に関する一考察
相互会社の法構造と保険契約者等の保護
告知義務の意義とその限界
生命保険企業の広告に関する理論・実証分析
生命保険会社の企業形態、コーポレートガバナンス、IT、産業融合と新たな規制のあり方の研究
わが国生命保険事業における経営多角化について
年金基金のリスク負担構造からみたわが国の企業年金の制度改革に関する研究

2002年度

わが国の機関投資家の企業統治における役割
生命保険業における逆選択の諸問題
韓国における生命保険会社の破綻処理
生命保険募集人の「一社専属制」に関する経済分析
生命保険契約におけるモラル・リスクと詐欺無効の理論
生命保険会社の組織と株式市場の評価
生命保険相互会社におけるストック・オプションの利用
—保険株式会社である損保子会社の株式を目的としたストック・オプションの利用—
ドイツ法における生命保険契約に対する信託的構成の在り方
—剰余金配当との関連において
連続時間モデルにおける最適生命保険需要
生命保険会社の経営戦略と破綻問題
カナダにおける生命保険契約法規制について
消費者のリスク認知における行動と性質に関する考察
保険契約者の保険金受取人指定変更の意思表示についての一考察
株価と為替レートの関係に関するマクロ分析

2001年度

リスク管理手段としての生命保険会計 — 契約者利益の観点から —
生命保険契約の失効・復活制度に関する比較法的研究
法人による保険事故招致免責に関する諸問題
わが国生命保険会社の金融ビジネスの特徴と課題
遺伝子情報利用をめぐる各国保険会社の動向と保険経営への影響
①リスク・アセスメントとリスク認知の問題に関する一考察、
②異常災害と保険選択の現実的關係に関する一考察
生命保険会社の株式会社化とその計量経済学的評価
生命保険相互会社の株式会社化をめぐる配当法理についての一考察
エーレンベルクの生命保険の二重性格理論と現代ドイツ保険契約法における保険料分割理論との関係
生命保険市場における合併・提携に関する経済分析
直接金融への移行が経済厚生に与える影響
保険会社におけるリスク・マネジメントの有効性と限界
日韓の保険募集組織に関する研究